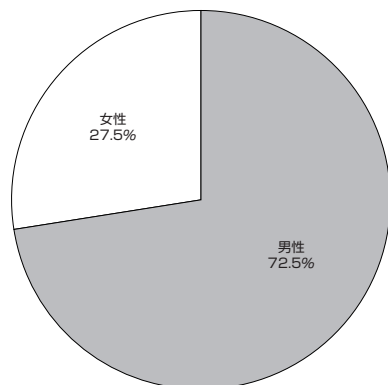


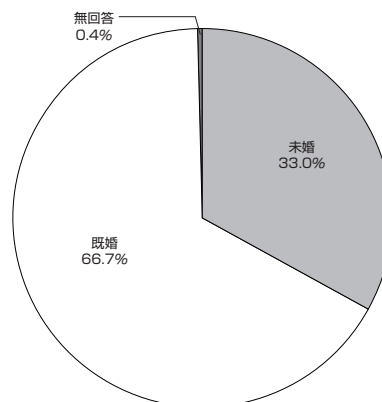
## 回答者のプロフィール

資料1-2-47 回答者の性別 N=1666



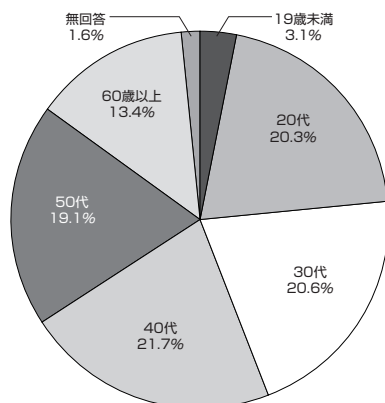
インターネット白書2000 ©インプレス, Access Media International&IAJ, 2000

資料1-2-48 回答者の未既婚 N=1666



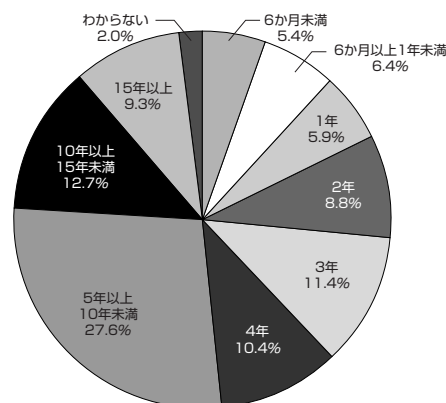
インターネット白書2000 ©インプレス, Access Media International&IAJ, 2000

資料1-2-49 回答者の年代 N=1666



インターネット白書2000 ©インプレス, Access Media International&IAJ, 2000

資料1-2-50 パソコン利用歴 N=1666



インターネット白書2000 ©インプレス, Access Media International&IAJ, 2000

## 解説

今回、回答者の性別は昨年と比較して女性が27.5%と大幅に増加したことが特徴といえる。昨年は同一世帯内にインターネット利用家族がいるとしても、アンケートに回答するのは主たる利用者である男性という構図が見え隠れしていたが、1年を経て本格的に女性のインターネット利用が活発化したといっていよう。

特に今回は全体的に女性特有の利用実態、利用内容がうかがえる結果となっている。米国ではすでに男性と女性の比率がほぼ半々になってきており、日

本でも今後ますます女性の増加傾向は強まると推測できる。

回答者の未既婚率は「未婚」33.0%、「既婚」66.6%と昨年とほとんど変わらないが、年齢構成比との相関をみれば当然の結果といえる。

利用者を年代別でみると特徴的なのは、昨年に引き続き50代、60代でやや増加している点である。また、学校など教育機関のインターネット利用への取り組みを反映してか、今年は「19歳未満」や「20代」という若年層でも若干利用者が増えており、インターネッ

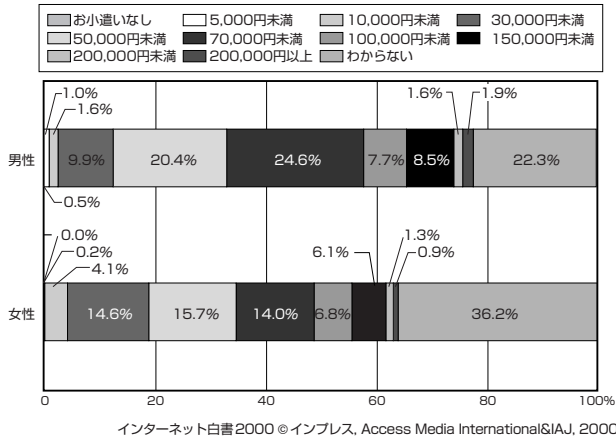
ト利用人口の裾野は可処分所得が多い層や、時間的余裕のある層に向けて確実に広がっているといえる。

インターネット利用に密接な関係があるパソコンの利用歴は利用歴の長い回答者と短い回答者の両極で増加している。インターネットの歴史とともに従来の利用者の年齢と利用歴が高くなる一方、パソコンの出荷増と利用者層の拡大に伴いパソコン初心者も絶えず流入しているといった現状が反映されているためと考えられる。

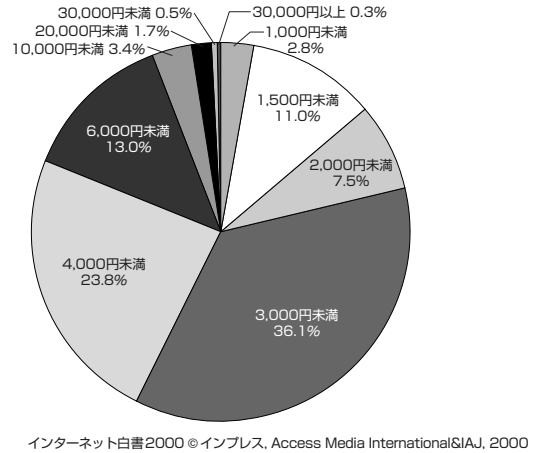
## 第2章 個人

### 回答者のプロフィール

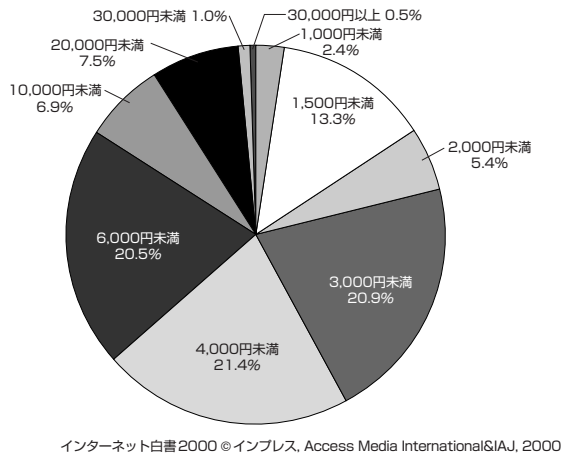
資料1-2-51 1か月当たりのお小遣い(性別) N=1666



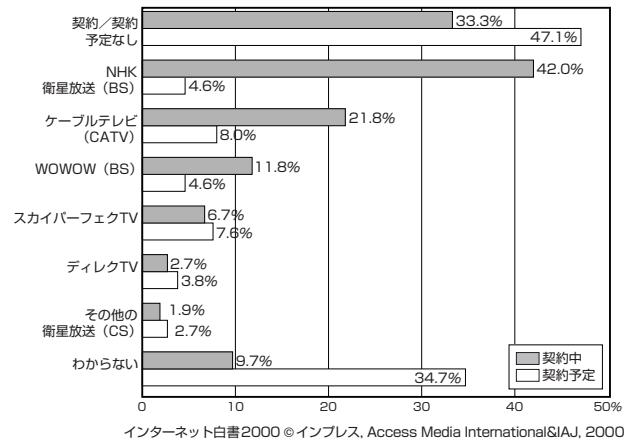
資料1-2-52 プロバイダーへの支出金額 N=1148



資料1-2-53 インターネット利用通信費 N=1066



資料1-2-54 契約中/契約予定の放送サービス N=1666



### 解説

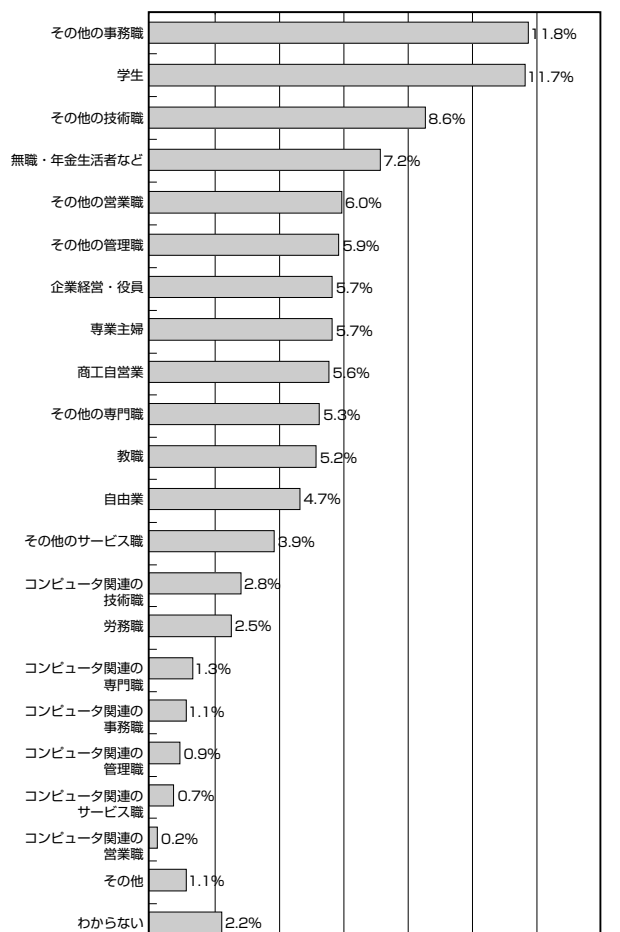
1か月当たりのインターネット関連投資金額を算出するために、回答者のお小遣いとプロバイダーへの支出額およびインターネットの利用通信費を比較している。利用者の1か月当たりの平均お小遣いは5万5828円であるが、そこからプロバイダーに平均3012円、通信費としては(家計費でない場合は)平均4044円を支払っていることになる。この両者を合わせるとインターネット関連投資金額はお小遣いの12.6%を占めることになる。昨年(15.7%)に比べるとこの比率は若干減少しており、プロバイダーや通

信会社の価格競争が利用者にとってはやや有利に働いていることもうかがえる。この他にも利用者の金銭的負担を考える際には、インターネット関連投資金額としてはオンラインショッピングなどに関わる費用も想定されるため、基本的なプロバイダー支出や通信費は小さな負担とはいえないだろう。今後衛星放送やCATVのサービスの一部としてインターネット接続サービスが増加することを考慮して、インターネット利用者の契約している契約中/契約予定の放送サービスについてもデータを

紹介する。最も多いのは「NHKの衛星放送」で42.0%を占める。次いで「CATV」の21.8%、「WOWOW」の11.8%と続く。一方、今後契約予定の放送サービスとしては「CATV」が8.0%、「スカイパーフェクTV」が7.6%となっている。特に有料の放送サービスに関しては現在の普及状況からみて、一般よりも高い契約率であり、インターネット利用者が比較的「情報」に対して支出をしている層であるといえる。プロフィール別では、全般的に女性で今後の契約予定の比率が高い傾向がみられた。

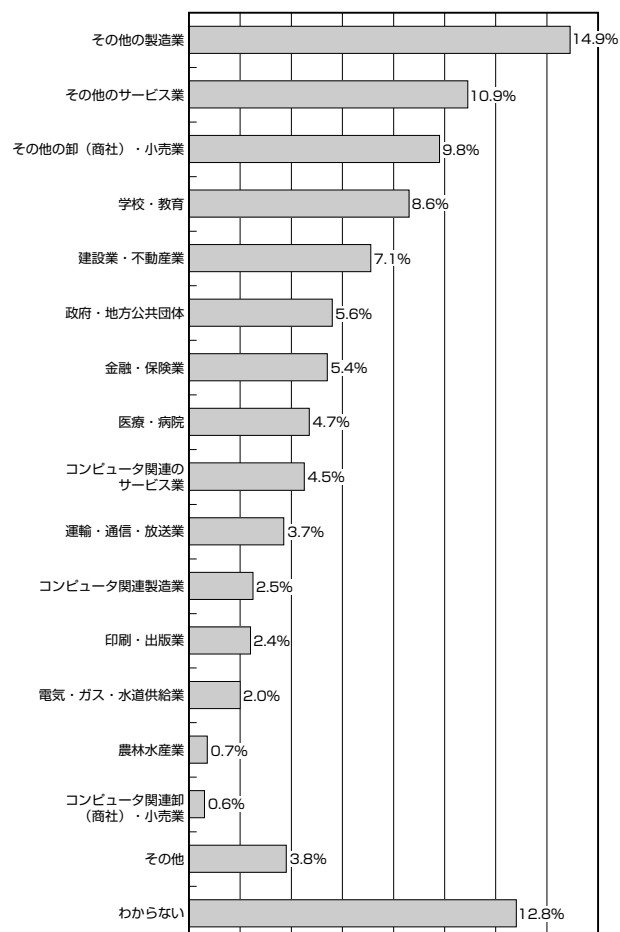
## 回答者のプロフィール

資料 1-2-55 回答者の職種 N=1666



インターネット白書2000 ©インプレス, Access Media International&IAJ, 2000

資料 1-2-56 回答者の業種 N=1201



インターネット白書2000 ©インプレス, Access Media International&IAJ, 2000

## 解説

回答者の職種で最も多いのは「その他の事務職」である。次いで「学生」、「その他の技術職」となっている。

今回の回答者の職種を昨年と比較してみると、昨年最も多かった「その他の技術職」が3位に後退し、「その他の事務職」と入れ替わるといように技術系の職種の減少が最も目立つ。また、コンピュータ関連の各職種が軒並み減少しており、ここ数年来のインターネット利用者の一般化傾向（コンピュータ関係者以外への浸透）が一層強まっ

たといっよ。

年代別でもみたように若年層、高齢層両端において浸透がみられたが、それに呼応して、「学生」や「無職・年金生活者等」が増加しているといえる。

回答者の業種は「その他の製造業」が最も多く、昨年と比べると上位は同傾向である。ただし、ここでも職種同様一般化傾向（コンピュータ関係者以外への浸透）によりコンピュータ関連業が減少している。昨年4位だった「コンピュータ関連サービス業」は今年

9位に、昨年7位だった「コンピュータ関連製造業」も今年は11位といずれも後退している。

また、業種における「わからない」については、職種の「学生」、「無職・年金生活者等」、「専業主婦」等を除いたものの比率であるが、拒否の意味合いの「無回答」と、自由業や自営業において業種が「わからない」と回答している比率が今回は高くなっている。  
(矢野さよみ アクセスメディア国際株式会社)



## [インターネット白書 ARCHIVES] ご利用上の注意

このファイルは、株式会社インプレスR&Dが1996年～2012年までに発行したインターネットの年鑑『インターネット白書』の誌面をPDF化し、「インターネット白書 ARCHIVES」として以下のウェブサイトで公開しているものです。

<http://IWParchives.jp/>

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容(技術解説、データ、URL、名称など)は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者(執筆者、写真・図の作成者、編集部など)が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は掲載されていない場合があります。
- このファイルの内容を改変したり、商用目的として再利用したりすることはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用される際は、出典として媒体名および年号、該当ページ番号、発行元(株式会社インプレスR&D)などの情報をご明記ください。
- オリジナルの発行時点では、株式会社インプレスR&D(初期は株式会社インプレス)と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めました。すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接および間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

お問い合わせ先

株式会社インプレス R&D

✉ [iwp-info@impress.co.jp](mailto:iwp-info@impress.co.jp)